

本当にわかる 精神科の薬 はじめの一步



Contents

● はじめに	稲田 健	3
--------------	------	---

第 1 部 精神科の薬の基本的な考え方

稲田 健

1 薬物療法の考え方	10
2 薬物療法をうまく行えるようになるために	12
3 向精神薬の分類と適応～5つのカテゴリーを押さえる～	15
コラム ● 適応外処方について	16

第 2 部 各薬剤の特徴と使い方

1. 抗精神病薬

河野仁彦

1 抗精神病薬とは？	18
2 抗精神病薬の作用機序	19
3 抗精神病薬の効果	21
4 抗精神病薬の副作用	23

5 各抗精神病薬の特徴と使い方	27
・ 総論	27
① 第一世代抗精神病薬	30
ハロペリドール／クロルプロマジン／ゾテピン	
② 第二世代抗精神病薬	32
リスペリドン／オランザピン／クエチアピン／ペロスピロン／	
アリピプラゾール／ブロナンセリン／クロザピン	

2. 抗うつ薬

村岡寛之

1 抗うつ薬とは？	37
2 抗うつ薬の作用機序	38
3 抗うつ薬の効果	40
4 抗うつ薬の適応疾患，標的症候	42
5 抗うつ薬の副作用	43
6 各抗うつ薬の特徴と使い方	49
① 選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI)	49
パロキセチン／フルボキサミン／セルトラリン／エスシタロプラム	
② セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬 (SNRI)	53
ミルナシプラン／デュロキセチン	
③ ノルアドレナリン作動性・特異的セロトニン作動性抗うつ薬 (NaSSA)	
.....	56
ミルタザピン	
④ 三環系抗うつ薬	58
イミプラミン／アミトリプチリン／ノルトリプチリン	
⑤ 四環系抗うつ薬	61
ミアンセリン	
⑥ その他の第二世代抗うつ薬	62
アモキシタピン／トラゾドン／スルピリド	

3. 抗不安薬と睡眠薬～ベンゾジアゼピン系薬剤

稲田 健

1 ベンゾジアゼピン系薬剤とは？	64
2 ベンゾジアゼピン系薬剤の作用機序	65

3	ベンゾジアゼピン系薬剤の効果	67
4	ベンゾジアゼピン系薬剤の適応疾患，標的症状	69
5	ベンゾジアゼピン系薬剤の副作用	71
6	各ベンゾジアゼピン系薬剤の特徴と使い方	73
①	抗不安薬	73
	エチゾラム／クロチアゼパム／フルタゾラム／ロラゼパム／ アルプラゾラム／プロマゼパム／フルジアゼパム／メキサゾラム／ ジアゼパム／クロナゼパム／クロキサゾラム／クロルジアゼボキシド／ メダゼパム／オキサゾラム／ロフラゼブ酸エチル	
②	睡眠薬	79
	トリアゾラム／ゾピクロン／ゾルピデム／エチゾラム／プロチゾラム／ リルマザホン／ロルメタゼパム／ニメタゼパム／フルトプラゼパム／ ニトラゼパム／エスタゾラム／フルラゼパム／クアゼパム	
7	ベンゾジアゼピン系薬剤の依存と対策	85
8	ベンゾジアゼピン系薬剤以外の抗不安薬，睡眠薬	88

4. 気分安定薬

松井健太郎

1	気分安定薬とは？	89
2	気分安定薬の作用機序	92
3	気分安定薬の効果	93
4	気分安定薬の適応疾患，標的症状	95
5	気分安定薬の副作用	97
6	各気分安定薬の特徴と使い方	98
	・ 総論	98
	・ 各気分安定薬の特徴と使い方	98
	炭酸リチウム／バルプロ酸ナトリウム／カルバマゼピン／ラモトリギン	

5. 抗認知症薬

河野敬明

1	抗認知症薬とは？	102
2	抗認知症薬の作用機序	103
3	抗認知症薬の効果	105
4	抗認知症薬の適応疾患，標的症状	106
5	抗認知症薬の副作用	107

6	各抗認知症薬の特徴と使い方	109
	・ 総論	109
	・ 薬剤ごとの特徴と使い方	111
	ドネペジル／ガランタミン／リバスチグミン／メマンチン	

第3部 疾患別 処方の実際

1. 基本的な考え方

稲田 健

1	単剤で少量から開始し漸増する	114
	コラム ● 血中濃度の話	115
2	十分な量，十分な期間用いる	116
3	薬剤は単剤で使用し，併用はせず切り替える	117
4	各カテゴリーの薬を1つか2つだけ選んで使いこなそう	118
5	専門医へ紹介するタイミング	120

2. 処方の実際

1	統合失調症	河野仁彦	121
	case ①：初発で精神科入院となった症例		
	case ②：治療中断により再発が疑われた症例		
2	不安障害	村岡寛之	130
	① パニック障害		134
	case：多忙をきっかけに発症した女性		
	② 強迫性障害		140
	case：人間関係の悩みをきっかけに“洗浄強迫”が顕著になった例		
	③ 社交不安障害		144
	case：友人に笑われたことをきっかけに発症した例		
3	うつ病とうつ状態	村岡寛之	148
	case：うつ病の典型例		
4	躁状態と双極性障害	松井健太郎	158
	case：過去に入院歴のある双極性障害患者		

5	認知症	河野敬明	164
	case：物忘れが目立ってきた高齢女性の例		
6	せん妄	河野敬明	172
	case：術後に意識障害，興奮が出現した例		
7	不眠	松井健太郎	179
	case①：大学院入学をきっかけに睡眠リズムが崩れた例		
	case②：不眠により長期間服薬を続けている高齢男性		
	コラム ● エチゾラム（デパス [®] ）について	松井健太郎	189
8	摂食障害	松井健太郎	190
	case：過去数回入院歴のある女性		
9	アルコール依存症	村岡寛之	198

第 4 部

注意すべき副作用と症候群

長谷川大輔

1	悪性症候群	206
2	糖尿病性昏睡	208
3	皮膚症状 向精神薬による重症薬疹：SJS, TEN, DIHS	210
4	薬物誘発性不整脈 薬剤性QT延長症候群と心室頻拍	212
5	向精神薬によって引き起こされる精神と行動の障害（行動毒性）	214
6	リチウム中毒	216
●	事項索引	218
●	薬剤名索引	220
●	執筆者一覧	222